

トラック 1 (囁き、耳舐め、手コキ)

あ、お兄さん、おかえりなさい

どうしたんですか？ そんなに慌てて.....何か変なことでもありました？

君は誰で、どうしてここになって.....もしかして私のこと忘れちゃったんですか？

ちょっとショックかも...。りこですよ、りこ。もう忘れちゃダメですからね

あっ、お兄さんの名前は言わなくても知ってますよ。お兄さんのことは誰よりも知ってる自信がありますから。.....そんなことよりお兄さん...お風呂にしますか？

ご飯にしますか？ それとも...わ、た、し、ですか？

ほんとにどうしたんですか？ いつも電車で目が合うと微笑んでくれるじゃないですか。それなのに今日はなんだかとっても冷たいような...。でも...そんなお兄さんも悪くない気がします

もう.....っ、いつも同じ駅で降りて一緒に帰ってるじゃないですか。それで今日から同棲しようって話になって、ウキウキで合鍵まで作って待ってたんです。.....今日は二人の同棲記念日ですよ？ 今日からここが私たちの愛の巣です♪

まだ付き合い始めたばかりですから、私の愛を受け止めきれてないんですよ。いいんですよ。これからた〜っぷり、時間をかけて私の愛を受け取ってもらいますからっ...♪

君は彼女じゃない.....？ やだなあ、お兄さんったら、正真正銘私がお兄さんの彼女ですよ？

誰、その人？ もしかして、よく一緒にいた人？ お兄さん...その人が彼女だなんて冗談言わないですよ？

ふーん、そうなんだ。これはお兄さんにはちゃんと分かってもらう必要があるみたいですね.....。ほら、そこ座ってください

まずは、よく分からない自称彼女よりも私の方がお兄さんのことを好きだってことを教えてあげる。お兄さん、よく分かってないみたいだから.....

.....そんな離れようとしなくてもいいじゃないですか。別に変なことなんかしませんよ

むしろお兄さんの好きなことだと思いますよ...っ♪

嫌がっちゃって.....

ほんとにこうやってお耳責められるの好きですよ？ 素直になっていいのに.....さっき言ったでしょ、お兄さんのことは誰よりも知ってるって...だから、お兄さんが他の人に知られたくない弱点.....性癖だってぜ〜んぶ知ってます.....

ほら、もうすでにちょっと感じちゃってるんじゃない？ お耳ピクピクしてますよ？

お耳を責められて感じちゃうエッチな変態さん.....っ♪

またピクってした。ほんとにここが弱点なんですね〜

どうやって知ったかなんてどうでもいいじゃないですか。まあ、強いて言うなら愛のおかげ、です.....っ。思えば思うほど、お兄さんのことが知りたくなって、いつ

の間にか全部知っちゃってたんです♪

だから...このまま私に身を委ねて気持ちよくなる？

お兄さんは嫌かも知れないけど、こっちは気持ちよくなりたがってるみたいですよ？ 服越しにも分かっちゃうくらいぱんぱんに膨らまして、何を期待してるんですか？

お兄さんが言いたくないなら～...

おちんちんに直接聞いちゃお.....っ。...ほら、お兄さんのおっきなおちんちん、もうこんなにガチガチに勃起してしこしこして欲しいって言ってますよ。だから...しこしこしてあげますね

しこ、しこ、しこ、しこ、しこ、しこしこ.....しこしこ、しこ、しこしこ、しこしこ、しこしこしこ、しこ、しこ、しこ、しこ、しこ.....っ

しこ、しこ、しこ、しこ...しこしこ、しこ、しこ、しこ、しこ、しこしこ.....しこ、しこ、しこ、しこ、しこしこ、しこしこしこ、しこ、しこ、しこ.....っ

気持ち良くて、もう抵抗する気もなくなってきたんじゃないですか？

そのままじっとしてれば私が最後まで気持ちよくしてあげますからね

んう、れろお...っ、れろれろれろおっ、れろっ、れろれろお、れろれるれろう...

っ！ れろお...っ、れるれるれろおっ...はあ、んっ...れろおっ、れうれるれろおっ.....んうっ、れろお...っ、れるうっ、ん、れろれろれるう、れろれろお...っ...はあ、んんう...っ、れろれろれろおっ、れるれろおっ.....！

どう？ 軽いお耳責めよりもお耳舐められながらの方がもっと気持ちいいし、好きでしょう？

ふふっ...良かったあ。このお耳責めだって、お兄さんを喜ばす為だけに必死に調べて勉強したんです.....っ

んう、れおれろれろお...っ、れるれるれろれろおっ...！ れろれろお、れろれろお、れろれるれうれるう...っ！ れろれろれろれろお...っ、れるれるれろおっ...はあ、んっ...はあっ、れろおっ、れうれるれろおっ.....はあ、んっ、れるれろれろお...っ、れるうっ、んっ、れろれろれるう、れろれろお...っ！

今度はこっちも.....

んれろお...っ、れろれるれろれろおっ、れろっ、れろれろお、れろれるれろお...っ！ はあ、んれろれろお...っ、れるれるれろおっ...はあ、はあっ、んっ...れろおっ、れうれるれろおっ.....んれろお...っ、れうれるうっ、ん、れろれろれるう、れろれろお...っ...はあ、んんう...っ、れろれろれろおっ.....！

あっ、おちんちんの先からもうねばねばの我慢汁出てきてる。あんなに最初は抵抗してたのにすっかり気持ち良くなっちゃってますね

最初から大人しくしてれば良かったのに.....私、これでも彼女なんですから、彼女には甘えるべきですよ？

お兄さんがなんと言おうと私はお兄さんの彼女ですよ？ お兄さんは忘れちゃってるみたいだから、これからゆっくり思い出していきましょうね...っ！

ほんとの彼女は私だってことを.....

んんう、れろおっ...れるれうれろれろお...っ、れろれろお...っ、れろれるれうれろ
おっ、れろれろおっ、れるれろお、れろれるれるう...っ！ んふう、んれろお...
っ、れるれるれろおっ...はあっ、んっ...れろおっ、れうれるれろおっ.....はあ、は
あっ、んうっれろお...っ、れろれろれるうっ、れろれろれるう、れろれろお...っ！
そろそろ分かってきたんじゃないですか？ 私がお兄さんのことどれくらい好き
で、如何に彼女に相応しいかが

ん、んっ...れろれろお...っ、れろれろれろおっ、れろっ、れろれろお、れろれるれ
るう...っ！ はあ、んっ、れるれろれろお...っ、れるれるれろおっ...はあ、んっ...
れるれるれろおっ、れうれるれろおっ.....んうっ、れうれるれろれろお...っ！ は
あっ、はあんっ、れろれるうっ、ん、れろれろれるう、れろれろれろれろお.....
っ！

自称彼女の人はこんな風にお耳舐めながら、しこしこなんてしてくれないでしょ？
これはお兄さんのことが好きで好きで愛してるから出来るんです。だから、自称彼
女の人のお兄さんへの愛なんて、実は大したことはないんですよ。私の方がお兄さん
のことを深く深く愛してるに決まってるんです.....！

もう喋る余裕もなさそうですね。お兄さん、さっきからすっごく呼吸荒くして必死
に感じちゃってるもん。お兄さんがこんなに感じてくれて、彼女としてとっても嬉
しいなあ.....っ

も〜っとしてあげたくなっちゃう.....っ♪

んうれろお...っ、れろれろ、れろ、れろれろおっ！ れろじゅうう、んれろ、んじ
ゅう、んじゅうう、れろれじゅっ...！ はあっ、あん、れろれるれるう...っ！ れ
ろ、れろお...っ、れるじゅむ、じゅむむ、じゅるれろれろお...っ、じゅむむう、じ
ゅるっ、じゅるるるう.....れる、れろっ、れろれろお...！ はあ、んっ...ちゅ
う、じゅう、じゅむう、れろおっ、れうれるれろお...！

んうれろ、れろれろ、れろお...っ、んちゅう、ちゅう、じゅうう、じゅむ、れろお
っ...！ れろれろ、れろっ、れろれろおっ！ れろじゅうう、んれろ、んじゅぷぷ
ぷぷぷ、んじゅぷぷう、れろれじゅっ...！ はあっ、あん、れろれるれるう...っ！
れる、れろお...っ、ちゅ、ちゅう、じゅ、じゅううう、じちゅぷぷぷぷう.....っ！
れるじゅむ、じゅむむ、じゅるれろれろお...っ！

ちゅむ、れろれろ、れろ、じゅむ、じゅむう.....はあっ、気持ちいい？ れろっ、
れろ、ちゅう、じゅうう、じゅむむうっ...じゅぷぷぷぷぷ...っ！ ねえ、気持ちい
い？

遠慮せず、もっとも〜っと気持ち良くなって、たくさん感じてるところ見せて？

んうれろお、れろちゅっ、ちゅうううう、じゅむ、じゅぷぷぷぷぷう...っ、れ
ろ、れろお...っ、んちゅう、ちゅうう、じゅうう、じゅむ、じゅむっ、れろ、れろ
お...！ れろ、れろ、ちゅ、ちゅう、じゅむっ、れろれろお...！ れろじゅう
う、んれろ、んじゅぷぷぷぷぷ、んじゅぷぷう、れろれじゅっ...！ はあっ、あ
ん、ちゅ、ちゅうううう、じゅむむむうっ、れろれるれるう...っ！

おちんちんびくびく一って震えてる。イきたい？ 出したい？

それなら自称彼女の人とはもう会わないって約束してください？ 出来ますよね？
無理なの？ 無理ならずとこのままおあずけでイかせてあげなくてもいいんですよ？

ほーら、てえ止めちゃった.....

もどかしいでしょ、イきたいですよ？ ほら言って？ 聞かせて？ はやくう...
っ！

ほら、んれろお、れろ、れろれろお...っ、お耳舐めてるだけじゃ、れろ、れるれろ
お、れろっ...イけませんよ...？ はやく、はやくう...っ。

よく言えました...っ！ 約束通りイかせてあげます♪

んれろお、れろ、れろ、れろお...っ、んちゅう、んちゅう、んじゅうううう、じゅ
むっ、ちゅむ、ちゅむぷぷぷぷうっ...！ れろ、れろ、れるっ、れろれろおっ！
ちゅう、ちゅううう、れろじゅうう、んれろ、んじゅぷぷぷぷ、んじゅぷぷう、
れるれじゅっ...！ はあっ、あん、れろれるれるう...っ！ れろ、れろお...っ、ち
ゅ、ちゅう、じゅ、じゅううう、れろじゅっ、れろじゅぷうっ...じちゅむむう.....
っ！ れるじゅむっ、じゅむむう、じゅるれろれろお...っ！

このまま、れろっ、れるれろお、れろおっ.....お耳舐めてるから、じゅむれろ、れ
ろっ、れろお、れろれろお...っ！ 私の手でびゅっびゅっていくところ見せて？

はあ、んれろお...！ いいよ、らしてっ...？ れろじゅっ、れろじゅむ！ ちゅぷ
ぷぷぷう.....っ！ いっぱいい〜っぱいちょうらい？

あっ、すごい...っ！ 熱いのたくさん...びゅくびゅく出てるっ.....！ すごい
量.....手がお兄さんの精液まみれになっちゃった...っ♪ こんなに出すなんて、相当
気持ち良かったんみたいですね。嬉しいっ...！

ねえ...？ 明日はも〜っと気持ちいいことしましょうね、お兄さん.....っ♪